

第 42 回交通工学研究発表会 開催のお知らせ

第 42 回交通工学研究発表会の発表申込につきましては、各分野の研究者・実務者から論文の投稿を頂き、下記のとおり開催する運びとなりました。会員の皆様方をはじめ関係各位多数のご聴講と活発なご意見の交換を期待しておりますので、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

1. 主催：一般社団法人 交通工学研究会
2. 開催日：2022 年 8 月 9 日(火)～ 10 日(水) [受付開始は各日ともにプログラム開始の 30 分前]
3. 会場：早稲田大学早稲田キャンパス 15 号館 (東京都新宿区西早稲田 1-6-1)
JR 山手線、西武新宿線高田馬場駅 徒歩 20 分、東京メトロ早稲田駅 徒歩 5 分、
東京メトロ西早稲田駅 徒歩 17 分、都営さくらトラム早稲田駅 徒歩 5 分
4. プログラム：当会ウェブページでご確認ください。
5. 参加費：発表者、聴講者 共通 (消費税を含む) ※今年度より論文集はオンラインで公開します。
正会員：9,900 円、特別会員：12,540 円、学生会員：4,620 円、非会員：18,480 円

◆開催に際してのご案内◆

- ・本大会は、会場での参加を原則といたしますが、会場の様子を映した web 配信も行います。
- ・会場では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、各室に定員を設けて開催します。当日混雑している会場への入室を制限する場合もございますので予めご了承ください。
- ・デモンストレーション展示および交通工学研究発表会懇親会は中止とします。
- ・今後の状況により全面オンラインでの開催になる可能性もございます。予めご了承ください。

◆発表者の皆さまへ◆

- ・発表は、会場にて行っていただきますが、やむを得ない事情があり、現地発表が容易でない方は、7 月 1 日までに事務局へメール(gakujutsu2@jste.or.jp)でご連絡頂きますようお願いいたします。
- ・この研究発表会で発表を行うと、2023 年刊行のオンラインジャーナル「交通工学論文集(特集号)第 9 巻」への投稿資格を得ることができます。
- ・45 歳以下(2022 年 4 月 1 日現在)の発表者による優れた論文発表に対して「研究奨励賞」を、交通安全に寄与する優れた論文発表に対して「安全の泉賞」を、それぞれ贈呈いたします。ただし、両賞ともに投稿時の発表予定者による発表ならびに質疑がなされなかった場合には対象となりません。

◆参加登録方法について◆

- ・当会ウェブページのイベント情報に「第 42 回交通工学研究発表会参加申込フォーム」へのリンクよりお申込みください(<http://www.jste.or.jp/Event/index.html>)。
- ・本研究発表会に参加するには、参加登録が必要となりますので、事前に参加登録をお済ませください。
- ・申込みフォームから参加者情報の送信、参加費納入の両方の手続きが済むと、参加登録が完了となります。
- ・申込・参加費納入期限：2022 年 7 月 25 日(月)
- ・参加登録が完了した方には、8 月 5 日までに参加方法や論文集閲覧方法等の案内をメールでお知らせします。
- ・ご入金後のキャンセルはできませんので予めご了承ください。

参加申込み・参加費納入に関するお問合せ：一般社団法人交通工学研究会 受付事務局
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル (株)毎日学術フォーラム内
TEL: 03-6267-4550 FAX:03-6267-4555
MAIL: maf-jste@mynavi.jp



一般社団法人 交通工学研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23 錦町 MKビル 5 階

※開催に関する緊急の連絡は <http://www.jste.or.jp/> の新着情報欄にてお知らせいたします。

第42回交通工学研究発表会 第1日目【2022年8月9日(火)】プログラム

発表12分、質疑12分 ○は発表者

第1会場(1階102教室)

第2会場(2階201教室)

第3会場(2階202教室)

第4会場(2階203教室)

Table with 3 columns: Time, Title, Author. Includes sessions 1, 2, 3, 4, 5, 6.

Table with 3 columns: Time, Title, Author. Includes sessions 5, 34, 35, 36, 37, 38, 39.

Table with 3 columns: Time, Title, Author. Includes sessions 9, 66, 67, 68, 69, 70, 71.

Table with 3 columns: Time, Title, Author. Includes sessions 13, 98, 99, 100, 101, 102, 103.

ランチオンミーティング 招待講演 「飽和交通流率の変化と交通社会への影響について」 青山 恵里 国土技術政策総合研究所(元日本大学理工学部)

第36回交通工学研究会論文賞受賞論文「飽和交通流率の変化とその要因に関する研究」の著者(青山 恵里, 下川 澄雄, 吉岡 展祐, 森田 紳之)による受賞講演を行います。

Table with 3 columns: Time, Title, Author. Includes sessions 2, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17.

Table with 3 columns: Time, Title, Author. Includes sessions 6, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50.

Table with 3 columns: Time, Title, Author. Includes sessions 10, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82.

Table with 3 columns: Time, Title, Author. Includes sessions 14, 104, 105, 106, 107, 108, 109, 110, 111, 112, 113, 114.

第42回交通工学研究発表会 第2日目【2022年8月10日(水)】プログラム

発表12分、質疑12分 ○は発表者

《第1会場》

《第2会場》

《第3会場》

《第4会場》

3. 交通行動分析 座長：室町 泰徳(東京工業大学) 副座長：竹平 誠治(株オリエンタルコンサルタンツ)			7. 交通調査手法 座長：小川 圭一(立命館大学) 副座長：那 健(株高速道路総合技術研究所)			11. 交通制御 座長：尾崎 晴男(東洋大学) 副座長：柳原 正実(東京都立大学)			15. 都市交通計画 座長：大沢 昌玄(日本大学) 副座長：高山 雄貴(金沢大学)							
9:30	18	観光地への混雑課金導入が周遊行動に与える影響の分析	○櫻井 陸斗 五百蔵 夏穂 福田 大輔	東京建物(株) 独立行政法人国際協力機構 東京大学	51	大型車両の走行経路上の重量自動記録のための記録タイミングに関する一考察	○大橋 幸子 松永 奨生 関谷 浩孝 井坪 慎二	国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所	83	車線運用と現示設計の組合せに基づき交差点信号制御の検討	○増井 啓太 白畑 健 鳥海 梓 伊藤 昌毅 大口 敬	東京大学 東京大学 東京大学 東京大学 東京大学	115	自動運転社会における端末交通拠点配置の影響評価に関する研究	○望月 泰尚 小西 充峻 森本 章倫	早稲田大学 ENEOS(株) 早稲田大学
9:55	19	空港後背地の都市指標による空港グループの設定と空港末端交通手段の特性比較	○土方 康裕 中村 文彦 有吉 亮 田中 伸治 松行 美帆子	横浜国立大学 東京大学 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学	52	低位置からの撮影動画による交差点方向別交通量計測に関する実証的研究	○菅原 宏明 堀井 大輔 菊池 恵和 大久保 順一	八千代エンジニアリング(株) 八千代エンジニアリング(株) 八千代エンジニアリング(株) 八千代エンジニアリング(株)	84	解釈可能な機械学習を用いた信号交差点における渋滞要因分析	○鈴木 文昭 宇野 伸宏 金崎 智也 中野 総士 安田 幸司 中川 真治	京都大学(現:(株)センリツ) 京都大学 (一社)システム科学研究所 (一社)システム科学研究所 (一社)システム科学研究所	116	ライドシェアを考慮した時空間ネットワーク配分モデルの構築	○松尾 優輝 嶋本 寛	九州大学 宮崎大学
10:20	20	来街者の事前活動計画からの変更挙動を考慮した回遊行動モデルの構築—神戸市都心商業地域を対象として	○寺山 一輝 高井 咲音 小谷 通泰	石川工業高等専門学校 北海道大学 神戸大学	53	動画を用いたナンバープレートの文字認識手法に関する基礎的研究	今井 龍一 神谷 大介 山本 雄平 中原 匡哉 姜 文淵 中畑 光貴 ○住吉 諒 高野 精久 山中 亮 平野 順俊	法政大学 琉球大学 関西大学 大阪電気通信大学 大阪産業大学工学部 関西大学 法政大学 (株)サーベイリサーチセンター 琉球大学/中央建設コンサルタン(株) (株)日本インシーク	85	強化学習を用いた信号制御パラメータ最適化に関する基礎的研究	桑原 雅夫 ○福田 和輝 橋本 申 佐津川 功季 田名部 淳	東北大学 (株)地域未来研究所 (株)地域未来研究所 東北大学 (株)地域未来研究所	117	群馬県における世帯間車同乗リップの現状分析	○秋元 伸裕 原田 昇 富岡 秀虎 森田 哲夫	(一財)計量計画研究所 中央大学 (一財)計量計画研究所 前橋工科大学
10:45	21	プローブ交通量と推定経路交通量の比較分析—バスレーン規制前後を例にして—	○片井 拓真 嶋本 寛	神戸大学 宮崎大学	54	受動赤外線自動計測器を用いた中心市街地における面的な歩行者・自転車通行量の分析(実務論文)	○相楽 大紀 長田 哲平 大森 宣暁	宇都宮大学 宇都宮大学 宇都宮大学	86	遅れ時間帰還信号制御のためのプローブデータ分析	赤羽 弘和 本多 祥子 伊賀田 真晴 ○加藤 淑人 堀口 良太	千葉工業大学 千葉工業大学(現茨城県庁) 千葉工業大学(現(株)長大) 千葉工業大学 (株)アイトランスポートラボ	118	ブロックチェーン技術を活用したデータ連携プラットフォームのMaaSへの適用可能性に関する基礎検証	○菊池 恵和 菅原 宏明 堀井 大輔 神谷 上地 安諤	八千代エンジニアリング(株) 八千代エンジニアリング(株) 八千代エンジニアリング(株) 琉球大学 琉球大学
11:20	22	高速道路大規模更新に伴う長期通行止め時の迂回促進に関する基礎的研究	○原 隆博 宇野 伸宏 倉内 文孝	京都大学 京都大学 岐阜大学	55	市販GPSを用いた駅周辺における歩行者の経路選択分析	○吉田 竜聖 佐々木 邦明 小川 明人 北條 彰人	早稲田大学 早稲田大学 (株)建設技術研究所 (株)建設技術研究所	87	プローブ旅行時間を用いた信号交差点交通状態の判別手法	○張 ウェン 吉井 稔雄 坪田 隆宏	愛媛大学 愛媛大学 愛媛大学	119	地方都市における自動車保有動機と交通手段の使い分けに関する研究	○浅野 周平 大門 創	福井大学 國學院大学
11:45	23	自己実現シナリオに基づく交通情報提供方法のオンライン実験研究	○江橋 恭士朗 福田 大輔	東京大学 東京大学	56	無人航空機観測データを用いた交通安全対策立案のための交通流解析	○井ノ口 弘昭	関西大学	88	片側交互通行における動的通行制御のためのシミュレーションによる最適化(実務論文)	○鈴木 嘉音 横田 康成 楊 甲	岐阜大学 岐阜大学 (公財)豊田都市交通研究所	120	自動車依存による観光の低減に向けた新たなモビリティサービス導入の可能性	○吉村 朋矩 三寺 潤	福井工業大学 福井工業大学
4. 歩行者交通 座長：山中 英生(徳島大学) 副座長：田中 義宗(警視庁)			8. 災害・Covid-19 座長：大森 宣暁(宇都宮大学) 副座長：白柳 洋俊(愛媛大学)			12. 運転支援・自動運転 座長：宇野 伸宏(京都大学) 副座長：小川 裕樹(国土交通省道路局)			16. 公共交通 座長：原田 昇(中央大学) 副座長：吉田 俊介(八千代エンジニアリング(株))							
13:10	24	信号機付き横断歩道における青点減速時の子供の横断挙動に関する研究	○鈴木 美緒 山田 竜矢	東海大学 (株)復建技術コンサルタント	57	深層学習を援用した洪水時における道路浸水状況の自動検出手法の提案	○坂本 淳 中村 純也	高知大学 ゾーボン建設(株)	89	ACC(Adaptive Cruise Control)制御車の混在が冬期における低交通量の高速道路交通流に与える影響について	○萩原 亨 坪田 啓吾 和田 脩平 高橋 翔	北海道大学 北海道大学 北海道大学 北海道大学	121	オンデマンド型乗合交通の配車アルゴリズムにおける所要時間に関する目的関数の影響分析	○上条 陽 高見 淳史 ハラディジャンカルロス	東京大学 東京大学 東京大学
13:35	25	無信号横断歩道における歩行者の立ち位置と振る舞いが自動車の一時停止挙動に及ぼす影響に関する考察	○藤田 蓮士 山田 真衣 橋本 成仁 海野 遥香 ハク ミシジョン	岡山大学 (株)ニューシーク 岡山大学 東京理科大学 岡山大学	58	交通基盤整備の長期的影響評価のための都市経済分析: 浸水リスク増大による経済活動の空間分布変化	○杉本 達哉 高山 雄貴 高木 朗義	八千代エンジニアリング(株) 金沢大学 岐阜大学	90	自動運転車混在下の渋滞流における走光型視線誘導システムの効果	○川田 怜央 柳原 正実 小根山 裕之	東京都立大学 東京都立大学 東京都立大学	122	自家用車を活用した輸送サービスの継続可能性に与える要因	○竹内 龍介 吉田 樹 猪井 博登	国土交通政策研究所 福島大学 富山大学
14:00	26	横断歩道外横断における歩行者とドライバーの挙動の把握	○安部 みちか ○海野 遥香 寺部 慎太郎 柳沼 秀樹 田中 皓介	東日本旅客鉄道(株) 東京理科大学 東京理科大学 東京理科大学 京都大学	59	津波避難シミュレーションを用いた車両通行制御の有効性に関する研究	○宮内 弘太 高田 和幸 熊野 稔 村上 ひとみ 久保田 智貴	東京電機大学/(一財)計量計画研究所 東京電機大学 宮崎大学 山口大学 東京電機ホールディングス(株)	91	自動運転車混在下の走光型視線誘導システムによる追従挙動変化を考慮した交通流分析	○寺田 弘明 柳原 正実 小根山 裕之	元東京都立大学 東京都立大学 東京都立大学	123	TNCサービスが公共交通に及ぼす影響に関する研究	○中川 壮亮 室町 泰徳	元東京工業大学 東京工業大学
14:25	27	バーチャリアリティ実験による歩行者の横断位置選択行動分析	○中島 孝規 井料 美帆	パシフィックコンサルタンツ(株) 名古屋大学	60	選択肢の不確実性を考慮した動的離散選択モデル	○近藤 愛子 浦田 淳司 羽藤 英二	東京大学 東京大学 東京大学	92	ミクロ交通シミュレータを用いた自動運転車混在を想定した交通流分析	○加藤 泰貴 円山 琢也	熊本大学 熊本大学	124	シミュレーション手法を用いた都市部におけるシェア型自動運転交通の導入評価(実務論文)	○花房 比佐友 高橋 浩司 一瀬 恭平 日下部 貴彦	(株)アイトランスポートラボ (株)アイトランスポートラボ (株)アイトランスポートラボ 東京大学
14:50	28	横断歩道データから計算した交差点幾何特徴量データセットの作成と左折事故分析への応用(実務論文)	○新井 慎大 木平 真 森 健二 萩田 賢司	科学警察研究所 科学警察研究所 科学警察研究所 科学警察研究所	61	災害復旧期の交通需要予測のための時間変化するパラメータのリアルタイム推定手法	○望月 陽介 浦田 淳司	東京大学 東京大学	93	右折レーンを活用した無信号交差点における協調制御	○中垣 弦一郎 田代 むつみ 三輪 富生 森川 高行	名古屋大学 名古屋大学 名古屋大学 名古屋大学	125	タクシーとバスの乗り継ぎ施策に関する意識分析	○鈴木 雄 日野 智 西 颯一郎 山崎 基浩	東京理科大学 秋田大学 八戸市役所 (公財)豊田都市交通研究所
15:25	29	実写VRによる通学路歩行者の視覚的注意に関する研究	○長谷川 裕修 鈴木 瑠子 葛西 誠 田村 亨	秋田工業高等専門学校 元秋田工業高等専門学校 秋田工業高等専門学校 北海商科大学	62	大雪時における自動車の急ハンドル及び急加減速の時系列変化に関する研究—交通障害の予測方策の確立に向けて—	○南 結雅 猪井 博登	富山大学 富山大学	94	区画線の状態や日射量が車線逸脱警報システムの検知性能に及ぼす影響	○飯田 克弘 藤本 伶央	大阪大学 東京電力パワーグリッド(株)	126	公共交通路線網による都市機能施設へのアクセス効果分析—長野市立地適正化計画を対象として—(実務論文)	○柳沢 吉保 轟 直希 坂口 拓也 浅野 純一郎 高山 純一	長野工業高等専門学校 長野工業高等専門学校 東海旅客鉄道(株) 豊橋技術科学大学 公立小松大学
15:50	30	自動運転車の普及が歩行者流動に与える影響	○持田 侑季 室町 泰徳	東京工業大学 東京工業大学	63	COVID-19 感染拡大に伴う交通状態変化が都市内高速道路における交通事故リスクに与えた影響に関する研究	○兵頭 知	日本大学	95	歩行者の安心かつ円滑な横断を目的とした自動運転車による意思伝達装置に関する研究	○和田 駿一 高橋 翔 萩原 亨	北海道大学 北海道大学 北海道大学	127	バス停徒歩圏特性に着目したミニマムのOD需要に関する要因分析—大阪府岸和田市のケーススタディー	○伊勢 昇 日野 泰雄	和歌山工業高等専門学校 大阪市立大学
16:15	31	画像認識 AI モデルを用いた通行および滞留機能を考慮した歩行空間の性能評価の試み	○曾 翰洋 鹿島 翔 葉 健人 土井 健司	大阪大学 (株)建設技術研究所 大阪大学 大阪大学	64	Covid-19蔓延下における歩行流動に関する基礎的研究	○吉田 純土 新階 寛恭 日向野茂 渡辺 英俊 豊辺 将嘉	国土交通省 国土技術政策総合研究所 (株)国際開発コンサルタンツ (株)国際開発コンサルタンツ (公社)交通計画協会交通計画研究所	96	自動運転車のeHMI検討のためのUnity仮想空間の構築	○田端 佑多 内田 敬	大阪公立大学 大阪公立大学	128	携帯電話GPSデータを用いた人流に対するバス運行本数の評価	○町田 宗瞭 神谷 大介 眞栗里 和希	琉球大学 琉球大学 沖繩県
16:40	32	休憩者のパーソナルスペース形成に歩行者が与える影響	○水谷 晃啓 日野 慧 松尾 幸二郎	豊橋技術科学大学 豊橋技術科学大学	65	感染症蔓延時における公共交通利用頻度と安心感に関する基礎的考察	○三村 泰広 鈴木 雄 山崎 基浩	(公財)豊田都市交通研究所 東京理科大学 (公財)豊田都市交通研究所	97	駐車場出入口における歩道手前での一時停止遵守率の実態と交通流への影響	○田部井 優也 小早川 悟	日本大学 日本大学	129	我が国で実施されている貨客混載事業の近年の傾向	吉武 哲信 ○名和 恵里 白石 悦二	九州工業大学 九州工業大学 日本工営(株)
17:05	33	車いす利用者の駅構内経路選択行動モデル構築のためのStated Preference調査	○日下部 貴彦 新井 祐子 本間 健太郎 杉野 勝敏 菅 芳樹 丹羽 由佳理	東京大学 東日本旅客鉄道(株) 東京大学 (株)地域未来研究所 (株)地域未来研究所 東京都市大学									130	JR気仙沼線BRTでの速達性・定時性確保について(実務論文)	○永井 孝弥 谷澤 寛 角 美咲	筑波大学(東日本旅客鉄道(株)所属) 東日本旅客鉄道(株) 東日本旅客鉄道(株)